

## ビタミン剤

ゼノビタンAD<sub>3</sub>E注

## 【本質の説明又は製造方法】

本剤は、高単位の脂溶性ビタミンA、D<sub>3</sub>、Eを含有する注射剤です。乳化性に優れ、速やかに生体内に吸収されることから、ビタミンA、D<sub>3</sub>、E欠乏による疾病の予防・治療に効果的です。

## 【成分及び分量】 本品1mL中

成分		分量
主 剤	レチノールバルミチン酸エステル	500,000I.U. (ビタミンAとして)
	コレカルシフェロール	75,000I.U. (ビタミンD <sub>3</sub> として)
	トコフェロール酢酸エステル	50mg (ビタミンEとして)
無痛化剤	ベンジルアルコール	0.01g

## 【効能又は効果】

1. ビタミンA、D、Eの補給
2. ビタミンA、D、E欠乏による下記疾病の予防と治療  
牛・馬・豚・羊・犬・ミンク：運動障害、繁殖障害

## 【用法及び用量】

1. 予防の場合には動物体重1kg当たり下記量を1日1回皮下又は筋肉内に注射する。  
牛、馬、豚、羊：投与量 0.005～0.01mL  
投与間隔 50～100日  
犬、ミンク：投与量 0.025～0.05mL  
投与間隔 80～160日
2. 治療の場合及び幼若動物又は妊娠、授乳中の動物には、上記予防量を適宜増加するか投与間隔を適宜短縮する。

## 【使用上の注意】

## 「基本的事項」

## 1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。

・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。

・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

・注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。

- ・ビタミンAはアルカリ性、日光によって急速に分解する。
- ・直射日光を避け、涼しい所に保管すること。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分量の許可を有した業者に委託すること。

## 2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って人に注射した場合は、直ちに医師の診察を受けること。

## 「専門的事項」

(副作用)

- ・ビタミンAは過量投与することによるビタミンA過剰症状(皮膚の変色、骨の肥大性増殖等)が起こることが報告されている。
- ・ビタミンDは過量投与による中毒(骨の脱カルシウム、軟組織化骨等)が殆ど全ての動物種で報告されている。
- ・ビタミンEを含有する注射剤は注射部位に硬結、発赤、腫脹等が起こること、また注射部位以外の全身的アナフィラキシー症状が起こることが報告されている。

【使用期限】 包装に表示の使用期限内に使用すること。

【包装】 50mL

## 【製品情報のお問い合わせ】

日本全薬工業株式会社

〒963-0196 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

フリーダイヤル 0120-452-793

受付時間 9:00-17:00(土日祝日・弊社休業日を除く)

製造販売元



日本全薬工業株式会社

ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。